

基礎スペイン語Ⅴ

科目ナンバリング SPA-105
必修 1単位

千代 勇一

1. 授業の概要(ねらい)

基礎スペイン語は、スペイン語でのコミュニケーション、そしてスペイン語圏の社会・文化・歴史に関するテーマについてスペイン語で書かれた文章を読み書きができるようになるための第一段階の授業です。

この基礎スペイン語Ⅴは問題演習を通じてスペイン語初級文法を習得することを目的としており、学習範囲はアルファベットから直説法現在形、目的格人称代名詞までとなります。ていねいに文法の説明はしますが、この授業の特色は数多くの問題を解き、その答え合わせと解説を通じて文法を学ぶことです。

また、初級文法の解説・演習に加えて、毎回の授業で短文暗記、そしてLMSによるオンラインの語彙力強化も行います。これらはいわば筋トレのようなイメージです。毎日の地道なトレーニングだけがスペイン語の”筋力”を養います。

2. 授業の到達目標

・スペイン語で口頭及び書面によるコミュニケーション、プレゼンテーションをするための基礎文法をマスターします。

・これを達成するために、次の3つの具体的な目標を設定します。

【基礎】アルファベットから目的語・目的格人称代名詞までの初級文法を理解する。

【応用】スペイン語技能検定6級(直説法現在)に合格するレベル

【発展】テキストのレベル2、レベル3(最難関)の問題を解くことができる。

3. 成績評価の方法および基準

・授業参加(宿題の履行、授業への参加度など):10%/LMSの単語テスト:30%/試験:60%

・評価は修得目標への到達度に基づいてなされます。

・授業では練習問題の答え合わせと解説が中心となるため、練習問題をやってきていない場合は欠席したものとみなします。

・欠席が規定回数を超えた時点で期末テストを受けることができなくなります。

4. 教科書・参考文献

教科書

西村君代他 『レベル別スペイン語文法ドリル』 朝日出版社

GIDE(スペイン語教育研究会)語彙研究班 『リスニング問題付 スペイン語語彙練習帳』 朝日出版社

5. 準備学修の内容

(1) 毎回、練習問題の宿題が指定されます。授業の文法説明を踏まえ、辞書を使い、必ず次の授業までに自分の力でやってください。わからない問題があっても構いません。その場合は問題に印や疑問点をメモして、どのような点がわからないのかを遠慮なく質問してください。

(2) 語彙力の強化として毎回LMSにより単語テストを実施するので、範囲の単語をしっかりと覚えること。

(3) 教科書の短文を授業外で音読し、暗唱できるようにすること。授業で確認します。

6. その他履修上の注意事項

・宿題を含めて準備学修は必ずやって授業に参加すること。

・授業の進捗はとても速く、欠席や遅刻は学習の遅れにつながります。その場合は必ず自習し、疑問点は質問してください。

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション:授業の進め方、評価方法、予定などの説明。アルファベット

【第2回】 ①文字・発音・音節・アクセントの答え合わせ②名詞の解説
(○の数字は『レベル別スペイン語文法ドリル』の章番号です。基本的にはレベル1の問題を扱います。)

【第3回】 ②名詞の答え合わせと③冠詞の解説

【第4回】 ③冠詞の答え合わせと④形容詞と指示詞の解説

【第5回】 ④形容詞と指示詞の答え合わせと⑤所有形容詞・所有代名詞の解説

【第6回】 ⑤所有形容詞・所有代名詞の答え合わせと⑥ser,estar動詞の解説

【第7回】 ⑥ser,estar動詞の答え合わせと⑦estar, hay, serの解説

【第8回】 ⑦estar, hay, serの答え合わせと⑧直説法現在の解説

【第9回】 ⑧直説法現在の答え合わせと⑨疑問文の解説と答え合わせ

【第10回】 ⑩目的語・目的格人称代名詞の解説

【第11回】 ⑩目的語・目的格人称代名詞の答え合わせ

【第12回】 これまでの復習問題

【第13回】 レベル2、レベル3の問題に挑戦

【第14回】 既習事項の理解度確認

【第15回】 理解度確認の解説【LMSによる遠隔授業】